

お客様各位

2020年8月
ブラザー工業株式会社
マシナリー事業
産業機器 CS推進部

大雨や台風による水害の事前対策

平素よりブラザー製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

大雨や台風による水害で機械が浸水すると、その程度により復旧まで多くの時間を要する可能性があります。機械が浸水する可能性があるかと判断された場合、以下の作業を事前に実施いただくことで、機械へのダメージ軽減、機械復旧までの時間短縮が期待できます。

1. プログラム・データバンク等の**全データをUSBやPCへ保存**してください。
2. X, Y, Z軸へ潤滑油（グリス）を多めに給油し、3回程度フルストロークで移動させ、**ボールネジ、LMガイドを潤滑**させてください。可能であれば、カバーを開けて手で直接グリスを塗布してください。
3. テーブル上面や治具等、**錆発生が懸念される箇所へ防錆油、グリスを塗布**してください。
4. 復旧時の原点調整作業を考慮し、各軸を以下の位置へ移動させた状態で電源をOFFしてください。

X, Y軸 : ストローク中心 *¹

Z軸 : ATC原点 (=マガジン回転および工具交換可能なZ軸位置) *¹, *²

QT軸 : パレット2を内側

A, B, C軸 : 0° (原点)

マガジン : No.1

*¹ 機種によって例外がありますので、詳細は2ページ目をご参照ください。

*² Z軸は水面からの距離を確保するため、原点調整位置ではなく最も高い位置（ATC原点）へ移動させてください。

5. 工場側の配電盤のブレーカーを切ってください。

制御盤まで浸水する可能性が非常に高いと判断された場合

- **基板コネクタの腐食防止のため、電池ボックスからバッテリーを外してください。**

バッテリーを取り外すことにより、NCデータ、各軸の位置情報が消失します。復旧の際は「1. プログラム～」で取得したバックアップデータを使用します。また「4. 復旧時の～」の位置で原点調整を行いますので、事前に各軸を上記の位置へ移動させて下さい。

浸水した機械は漏電している可能性がありますので、電源を立ち上げる前に必ず電気専門業者や弊社コールセンター、各拠点営業所までご相談ください。

ご不明点等ございましたら、弊社コールセンター(0566-25-3710 案内番号3番)もしくは各拠点営業所までお問い合わせください。

大雨や台風による水害の事前対策 「4. 復旧時の原点調整作業～」の補足資料

◆以下の位置へ各軸を移動させた状態で電源をOFFしてください。

◆X、Y軸原点調整時の機械座標

◆ATC原点の機械座標

機種	X	Y	Z
S300X1, S300X2	-150	-200	615 (ハイコラム無し)
S500X1, S500X2	-250	-200	765 (ハイコラム150)
S700X1, S700X2	-350	-200	865 (ハイコラム250)
S1000X1	-500	-250	615 (ハイコラム無し) 765 (ハイコラム150) 865 (ハイコラム250) 965 (ハイコラム350)
R450X1, R450X2	-225	-160	640 (標準) 690 (QT低床)
R650X1, R650X2 (40MG含む)	-325	-200	690 (標準) 760 (QT低床)
M140X1	-100	-220	540
M140X2, M200X3	-100	-245★	590
M300X3	-150	-245★	640
F600X1	-300	-200	685
TC-S2D, S2DN TC-S2C	-250 (標準) -350 (TC-S2C, D, DN-O) -150 (TC-S2C, D, DN-S)	-200	615 (ハイコラム無し) 765 (ハイコラム150) 865 (ハイコラム250)
TC-R2B	-210	-160	640
TC-31B	-175	-125	550☆
TC-20B	-100	-170★	370☆
TC-32B, 32BN	-364★	-4★	645 (QT, FT標準) ☆ 865 (FT低床) ☆
TC-22B	-250 (標準) -350 (TC-22B-O)	-225	660 (標準) ☆ 640 (TC-22B-O) ☆ 810 (標準ハイコラム150) ☆ 790 (TC-22B-O ハイコラム150) ☆

表に記載のない機種は、XY軸はストローク中心、Z軸はATC原点へ移動させてください。

★はストローク中心ではありませんのでご注意ください。

☆はATC原点位置とZ軸原点位置がほぼ同等のため、ATC原点ではなくZ軸原点位置 (ストローク上端) としています。